

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 98 2016年8月

発 行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会第 29 回秋季信頼性シンポジウム発表募集

- (日 時) 2016年11月24日(木) 10:00~19:00《時間は予定です》
(会 場) 一般財団法人日本科学技術連 東高円寺ビル (杉並区高円寺南 1-2-1)
(主 催) 日本信頼性学会
(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会*, 公益社団法人応用物理学会, 研究・イノベーション学会,
一般社団法人電気学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 公益社団法人日本オペレーションズ・
リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会*, 一般社団法人日本機械学会, 公益社団法人日本
経営工学会, 一般社団法人日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間工学会, 一般社団
団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会*,
IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter 《*は依頼中です》

<発表のおすすめ>

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思えますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思えます。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

<推薦論文のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの 1 ないし 2 件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ（希望があれば原著論文としても受け付けます）として学会誌への投稿を推薦いたします。推薦論文は、通常よりも短い期間で審査を行います（ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります）。なお、今回のシンポジウムの推薦論文については、掲載可と判定された場合、掲載に必要な費用が免除されます。

<予定セッション構成>

1. 【組織、管理、規格、プロジェクト管理面】生産システム、組織改革、管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例。管理手法適用事例、人間信頼性、社会との関わり、または新手法。
2. 【試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面】部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析、物性（接続、接着、腐食、摩耗、疲労、マイグレーションなど）、全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. 【システムの信頼性、保全性、ライフサイクルおよびソフトウェア面】システムまたはソフトウェアの信頼性、保全性、ライフサイクルコスト、リサイクル、リユース、保全支援活動の設計、解析、保証事例・改善事例など。
4. 【安全性、リスク】産業安全、製品安全、リスク解析など。
5. 【データ収集、解析】情報システム・ネットワークのモニタ、遠隔・多量・自動データ計測、ノイズ解析など。

高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術，新データ探索など。

6. 【理論，一般】基礎理論，数学的技法，モデル化と統計的解析など。

＜参加費と発表者の特典＞

(シンポジウム参加費) 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円，非会員 4,000 円，学生 1,500 円
(情報交換会参加費) 2,000 円 発表者 (1 名) は情報交換会にご招待いたします。

＜発表申込方法＞

学会ホームページ (<http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=67>) の「発表申込書」に発表概要を記載の上，電子メールにてお申し込みください。または，学会誌 7 月号に掲載の「発表申込書」にご記入の上，FAX にてお申込ください。

申込期限 2016 年 9 月 5 日 (月) まで

審査結果 2016 年 9 月 12 日 (月) 頃までにご連絡いたします。

発表原稿締切 2016 年 10 月 24 日 (月) ワープロで A4 判 4 枚

申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 8 月例会 (第 127 回)

(日 時) 2016 年 9 月 2 日 (金) 13:00～17:00

(場 所) 日本科学技術連盟本部 Room-A (東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階)

アクセス <http://www.juse.or.jp/aboutus/access/>

地図 http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf

(東高円寺ビルではありません。お間違えのないようお願いします。)

(議 題)

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1) 幹事会からの連絡事項 | 13:00～13:20 |
| ・新入会員の紹介，オブザーバの紹介 | |
| ・日本信頼性学会情報 | |
| ・第46回信頼性・保全性シンポジウム参加報告 他 | |
| 2) プレゼン&議論 | |
| ①温度ヒューズの溶断メカニズムと不具合事例 | 13:20～13:50 |
| 会員 西野 裕暁氏 | |
| ②電流ヒューズの溶断メカニズムと選定方法 | 13:50～14:50 |
| エス・オー・シー株式会社 石村 考氏 | |
| (休 憩) | 14:50～15:00 |
| ③EMC設計の成功ポイント | 15:00～15:50 |
| 沖エンジニアリング株式会社 戸所 祐策氏 | |
| ④リチウムイオン電池の事故について | 15:50～16:40 |
| 会員 神山 敦氏 | |
| (今後の予定) | 16:40～17:00 |
| ・10月例会 (第128回) 案内 他 | |
| 10月28日 (金) 日科技連 東高円寺ビル会議室 | |

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書（『ライフサイクルコストリング—研究会は、信頼性シンポジウム導入と適用事例—』）の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lcc の啓発活動もおこなっています。

年に4回ほど、原則として金曜日の夜に日科技連会議室に集まり、2時間にわたる研究会を開催しております。前半の1時間は情報交換と称し、各メンバーが前回研究会から研究会当日までの間に収集したLccに関する情報提供などを行います。後半の1時間は毎回担当を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lccに関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lccに少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日 時) 2016年10月14日(金) 18:00~20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 本部 (新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4階)

http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com

同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

詳細は、http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 をご参照ください。

信頼性研究会

(電子情報通信学会, IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter, 日本信頼性学会 共催)

(日 時) 2016年8月25日(木)~26日(金)(予定), 10月21日(金)

以降, 11月, 12月, 2017年2月に開催予定

(主 催) 電子情報通信学会, IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter, 日本信頼性学会

(会 場) 8月25日~26日(予定): 函館ロワジュールホテル(函館市)

10月21日: 沖縄県青年会館(那覇市)

(参加費) 無料(技術研究報告は1,500円にてご購入いただけます(任意))

(問合先) 電子情報通信学会信頼性研究専門委員会 幹事 岡村寛之先生(広島大学)

E-mail: okamu@rel.hiroshima-u.ac.jp

詳細は、<http://ieice.org/~r> よりご参照ください。会場等、決定次第公開いたします。

ソフトウェアテストシンポジウム 2016 北海道 (JaSST' 16 Hokkaido)

(日 時) 2016年9月2日(金) 9:30 開始

(主 催) ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)

ソフトウェアテストシンポジウム北海道 実行委員会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1条西13丁目)

(参加費) 4,000円

(問合先) 特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10 ユニゾ芝二丁目ビル7階
TEL03-5444-7601 FAX03-5444-8095 E-mail: jasst@event-rangers.jp
詳細は、 <http://jasst.jp/symposium/jasst16hokkaido.html> よりご参照ください。

第8回 知識構造化 (SSM) シンポジウム 「不具合知識の価値を高める SSM 実践各社の多彩な取組み」

(日 時) 2016年9月9日(金)
(主 催) 一般財団法人 日本科学技術連盟
(後 援) 日本信頼性学会
一般財団法人日本規格協会
一般社団法人日本品質管理学会
一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター
一般社団法人日本自動車部品工業会
株式会社日科技連出版社
(主 旨) SSM(ストレス-ストレングス・モデル) は、不具合情報を解析し、教訓として抽出した知識を組織全体で再利用する手法として、近年多くの企業に広がっています。
今回のシンポジウムでは、こうした SSM の取組み、また SSM 導入推進の工夫、組織の特徴を踏まえた知識検索・活用方法等について、3社による実践事例や企業での活用状況レポートなどを通してご紹介します。
(会 場) 東京証券会館 (東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8)
(参加費) 4,860円(税込)
(問合先) 一般財団法人 日本科学技術連盟
品質経営研修センター 研修運営グループ TQM チーム (福田)
TEL03-5378-1213 E-mail: tqmsemi@juse.or.jp
詳細は、 <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms> よりご参照ください。

講習会「安全評価・認証の実務者が語る『機械安全と第三者評価・認証』」

(日 時) 2016年9月9日(金) 10:00~17:00
(主 催) 日本機械学会 産業・化学機械と安全部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 日本電機工業会 会議室 61-63 (千代田区一番町 17 番地 4 電機工業会館)
(主 旨) リスクを受け入れ可能なレベルに低減させた機械を設計・製造することは機械メーカーの責務である。このために機械安全の安全要求の標準化が進められており、わが国でも日本工業規格(JIS)として発行されている。規格の要求に沿って機械が設計・生産されているかを客観的に確かめる方法として、第三者による評価制度があり、欧米では長年の実績がある。しかしながら、わが国では製造者による評価(第一者評価)及びユーザによる評価(第二者評価)に比べ、第三者評価が浸透していないのが実情である。
当講習会では、機械安全と第三者評価・認証の必要性とその意義及び第三者評価・認証を行う際に問題となる点を第三者評価・認証実務者により事例を交えて解説を行う。

(問合せ先) 一般社団法人日本機械学会 産業・化学機械と安全部門
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階
TEL 03-5360-3505 E-mail : sakurai@jsme.or.jp
詳細は、 <http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4647> よりご参照ください。

経営情報学会 2016 年秋季全国研究発表大会 「ICT が造り出す未来 : Integration of Intelligence」

(日 時) 2016 年 9 月 15 日 (木) ~16 日 (金)
(主 催) 経営情報学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 立命館大学 大阪いばらきキャンパス (大阪府茨木市岩倉町 2-150)
(事務局) 一般社団法人経営情報学会 大会ヘルプデスク
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
FAX : 03-3368-2827 / e-mail : jasmin-desk@bunken.co.jp
(問合せ先) ml-jasmin2016@ml.ritsumeiji.ac.jp
詳細は、 http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2016_fall/ よりご参照ください。

センサ・アクチュエータ・マイクロナノ／ウィーク 2016 次世代センサ総合シンポジウム “ニーズとシーズの出会い”

(日 時) 2016 年 9 月 28 日 (水) ~30 日 (金)
(主 催) 次世代センサ協議会
(協 力) フジサンケイ ビジネスアイ
(協 賛) 日本信頼性学会 他 26 団体
(会 場) 東京ビックサイト 会議棟 6 階 610 号室 (東京都江東区有明 3-11-1)
(主 旨) センサ・アクチュエータ・マイクロナノの普及啓蒙を目的とし、3 日間で 5 セッション、
「医療計測及び診断のための生体センサ&デバイスの研究開発」「自動車用センサ」「海洋計
測センサ」「社会インフラ」「IoT／センサがひらく将来社会』『SENSPIRE™ the Future !」
をテーマに開催する。
(参加費) (1 セッションにつき) 会員 8,500 円, 協賛会員 11,000 円, 一般 13,000 円, 学生 3,500 円
(税・資料代込, 5 セッション全てお申込の場合は割引あり)
(問合せ先) 一般社団法人次世代センサ協議会 事務局
〒101-0041 東京都千代田区神田須賀町 1-24-3 FORECAST 神田須賀町 4 階
TEL03-5294-2333 FAX03-5294-0909 E-mail: office@jisedaisensor.org
詳細は、 <http://www.jisedaisensor.org/> よりご参照ください。

第 26 回設計工学・システム部門講演会 (D&S2016)

(日 時) 2016 年 10 月 8 日 (土) ~10 日 (月)
(主 催) 日本機械学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 慶應義塾大学 日吉キャンパス (横浜市港北区日吉 4-1-1)
(問合先) 公益社団法人日本材料学会
京都市左京区吉田泉殿町 1-101
TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail: jimuj@jsms.jp
詳細は、 <http://www.jsms.jp/conference/dsdconf16/> よりご参照ください。

第 2 回材料 WEEK

(日 時) 2016 年 10 月 11 日 (火) ~14 日 (金)
(主 催) 日本材料学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 京都テルサ (京都市南区東九条下殿田 70)
(問合先) 一般社団法人日本機械学会 設計工学・システム部門
東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階
TEL03-5360-3505 FAX03-5360-3509 E-mail: takimoto@jsme.or.jp
詳細は、 <http://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf16/> よりご参照ください。

2016 年度第 2 回 OR セミナー「Excel ソルバーではじめる OR」

(日 時) 2016 年 10 月 15 日 (土) 10:00~17:30
(主 催) 日本 OR 学会
(協 賛) FMES 関連学会
(会 場) 株式会社構造計画研究所 本所新館 (地下 1 階レクチャールーム) (中野区中央 5-4-3)
(問合先) 公益財団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町 1-13-5
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
詳細は、 <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> よりご参照ください。

第 33 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

(日 時) 2016 年 10 月 24 日 (月) ~26 日 (水)
(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 平戸文化センター (長崎県平戸市)
(問合先) 「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局
株式会社セミコンダクタポータル
TEL03-5733-4971 FAX03-5733-4973 E-mail: sensorsympo_2016@semiconportal.com
詳細は、 <http://www.sensorsymposium.org/> よりご参照ください。

【同時開催】 第 8 回 集積化 MEMS シンポジウム

(主 催) 応用物理学会集積化 MEMS 技術研究会
詳細は、 <http://annex.issp.or.jp/MEMS> よりご参照ください。

日本経営工学会「2016年度秋季大会」

- (日 時) 2016年10月28日(金)～29日(土)
(主 催) 日本経営工学会(日本IE協会との共同開催)
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 日本教育会館 (<http://www.jec.or.jp>)
(テーマ) 未来を創る力『モノづくり』～IE・経営工学が示す新たな可能性
(問合せ) 大会への参加・発表関連のお問い合わせ先
日本経営工学会大会ヘルプデスク jima-desk@bunken.co.jp
学会入会や会員ID・パスワードについてのお問い合わせ先
日本経営工学会 学会事務局 jima-post@bunken.co.jp
詳細は、<http://www.jimagnet.jp/activities> よりご参照ください。

第36回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2016)

- (日 時) 2016年11月9日(水)～11日(金)
(主 催) ナノテストニング学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)
(内 容) LSI等のナノスケール構造を持った材料・デバイスのテストニング(テスト, デバック・診断, 物理解析)技術を主たるテーマとするシンポジウムです。アブストラクトの査読が行われます。
(参加費) 一般: 10,000円, 学生 2,000円
(問合せ) ナノテストニング学会 事務局
〒565-0871 吹田市山田丘1-5 大阪大学大学院情報科学研究科情報システム工学専攻中前研内
TEL06-6879-7813 FAX06-6879-7812 E-mail: NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp
詳細は、<http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/> よりご参照ください。

International Conference on Project Management 2016 (ProMAC 2016)

- (日 時) 2016年11月16日(水)～19日(土)
(会 場) Surfers Paradise Marriott Resort & Spa, Gold Coast, Australia
(主 催) プロジェクトマネジメント学会
(協 賛) FMES 加盟学会
(主 旨) 第10回目となる国際会議, “ProMAC2016”をオーストラリア ゴールドコーストにて開催いたします。
ProMACは地域, 国境, 業界, 組織を越えて, オープンなプロジェクトマネジメントの知見, 経験, 成果を共有する国際交流の場です。皆様からの国際会議での発表参加を幅広く募り, 大会を国際交流の場として有意義で充実したものにしていくことを目指しております。
この機会に国際会議で発表されたことのない方は勿論, 他国のPMやエンジニアらと異文化交流したい方, 自身の経験を国際会議の場で発表されたい方など国際会議にご興味のある方は是非発表をお勧めいたします。

世界の PM リーダーたちと交流することができるよい機会です。奮ってご参加ください。
(参加申込スケジュール)

早割申込締切: 2016年8月下旬(予定)

(問合せ先) PM 学会行事委員会

論文・発表等に関するお問合せ: event@spm-hq.jp

詳細は, <http://www.spm-hq.jp/promac/2016/> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
Ordered Data and their Applications in Reliability and Survival Analysis: An International Conference in Honour of N. Balakrishnan for his 60th Birthday	McMaster University Ontario, Canada	2016/8/8-10		
第 26 回設計工学・システム部門講演会 (D&S2016)	慶応義塾大学 横浜市港北区	2016/10/8-10		http://www.jsms.jp
電子情報通信学会信頼性研究会	函館ロワジュールホテル 函館市	2016/8/25-26		http://www.ieice.org/~r/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 本部 (西新宿)	2016/9/2		http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72
ソフトウェアテストシンポジウム 2016 北海道 (JaSST'16 Hokkaido)	札幌市教育文化会館 札幌市	2016/9/9		http://jasst.jp/symposium/jasst16hokkaido.html
第 8 回知識構造化 (SSM) シンポジウム 「不具合知識の価値を高める SSM 実践各社の多彩な取組み」	東京証券会館 中央区日本橋茅場町	2016/9/9		http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/sms
講習会「安全評価・認証の実務者が語る『機械安全と第三者評価・認証』」	日本電機工業会 千代田区一番町	2016/9/9		http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4647
経営情報学会 2016 年度秋季全国研究発表大会 「ICT が造り出す未来: Integration of Intelligence」	立命館大学 大阪いばらきキャンパス 茨木市	2016/9/15-16		http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2016_fall/
センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2016 次世代センサ総合シンポジウム“ニーズとシーズの出会い”	東京ビックサイト 江東区有明	2016/9/28-30		http://www.jisedaisensor.org/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 東高円寺ビル	2016/10/28		http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72
第 26 回設計工学・システム部門講演会 (D&S2016)	慶応義塾大学日吉キャンパス 横浜市港北区	2016/10/8-10		http://www.jsms.jp/conference/dsdconf16/
第 2 回材料 WEEK	京都テルサ 京都市南区	2016/10/11-14		http://www.jsme.or.jp/conference/dsdconf16/
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 本部 (西新宿)	2016/10/14		http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45
2016 International Conference for JSCS 30th Anniversary in Seattle	Seattle Central Library Seattle, USA	2016/10/16-17	2016/9/26	http://jscs.jp/int/2016/
2016 年度第 2 回 OR セミナー 「Excel ソルバーではじめる OR」	(株)構造計画研究所 中野区中央	2016/10/15		http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html
電子情報通信学会信頼性研究会	沖縄県青年会館 那覇市	2016/10/21	2016/8/15	http://www.ieice.org/~r/
第 33 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム	平戸文化センター 長崎県平戸市	2016/10/24-26		http://annex.issp.or.jp/ME MS

ICRMS'2016 (11th International Conference on Reliability, Maintainability and Safety) 第 11 回信頼性・保全性・安全性国際会議	中国杭州	2016/10/26-28		http://icrms.zstu.edu.cn/index.php?lang=en
日本経営工学会「2016 年度秋季大会」	日本教育会館 千代田区	2016/10/28-29		http://www.jiminet.jp/activities
第 36 回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2016)	千里ライフサイエンスセンター 大阪府豊中市	2016/11/9-11		http://www-NANOTS.i-st.osaka-u.ac.jp/
International Conference on Project Management, 2016 (ProMAC 2016)	Surfers Paradise Marriott Resort & Spa, Gold Coast, Australia	2016/11/16-19		http://www.spm-hq.jp/promac/2016/
第 29 回秋季信頼性シンポジウム	日科技連 東高円寺ビル	2016/11/24	2016/9/5	http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=67
日科技連 第 103 回 品質管理シンポジウム	箱根ホテル小涌園 箱根町	2016/12/1-3		http://www.juse.or.jp/qcs/
2nd Pacific Rim Statistics Conference for Production Engineering	Hoam Center at Seoul National University Seoul, South Korea	2016/12/15-16		
MMR 2017 (10th International Conference on Mathematical Methods in Reliability)	Grenoble フランス	2017/7/3-6		http://mmr2017.imag.fr/